



2020年度

高校生のための書道講座

主催 安田女子大学 文学部 書道学科

20世紀以降、中国西域を中心とする各地から発見された文字等によって、それまでベールに包まれていた歴史は次々と塗り替えられていきました。また、書の制作においても、古法帖中心の学書から新発見の肉筆資料による新しい書風の表現が試みられていきました。この講座では、文字の発見がもたらした書道史研究と書の作品制作との両面を紹介し、幅広い書の研究の一端にふれていただきたいと思います。

午 前<10:00~11:30> 増田 知之 准教授	午後<12:30~15:40>(休憩含む) 大迫 正一 教授
「鍾繇・王羲之の真相をもとめて 一文字の発見からみた研究史」 後漢時代から魏晋時代にかけて、紙の普及など書写環境の変化により、書が芸術的な地位を獲得することになります。そして、のちに「書聖」として尊崇される王羲之が登場します。今回は、「東牌楼漢簡」や「李柏文書」など、木簡や紙に書かれた新発見の肉筆資料と歴代の文献史料（書論）とを縦横に活用して、「草書の芸術性」、「行書の実相」、「楷書の生成」というテーマのもと、王羲之と「薦季直表」などで知られる鍾繇ら代表的書人を関連させながら講義を行います。	「制作の現場—文字の発見を作品化する—」 近50年、さまざまに試みられてきた作品制作の実例を紹介しつつ、文字の発見がもたらした制作現場の変容に迫ります。また、講師が試みてきた隷書による作品化の過程を紹介し、作品化する難しさ楽しさ等を一緒に考えてみたいと思います。 なお、前半は半紙を使用した実習、後半は会場をフロア教室に移し、半切を使用した実習を行います。半紙・半切・墨等の用具はすべて用意しますが、筆は持参しても構いません。

〔場 所〕 安田女子大学7号館3階 7305、7306書道教室
広島市安佐南区安東6丁目13-1（アストラムライン「安東（ヤスヒガシ）駅」下車）

〔開講日時〕 8月4日（火）10:00~15:40

〔参加費〕 無 料

〔受講対象〕 高等学校に在学中の男子女子生徒
（これから書道を始めたい人・書道が上手になりたい人・書道に関心のある人）

〔そ の 他〕 半紙・半切・墨等の用具はすべて用意しますが、自分の筆などを持参しても構いません。
また、ジャージ等に替える更衣室も用意しています。
昼食はご持参いただくか、学内のまほろば食堂・セブンイレブンをご利用ください。

〔申 込 先〕 高等学校名、学年、氏名を下記宛に TEL・FAX またはメールにてお知らせください。

安田女子大学 文学部 書道学科事務室 （松村）

TEL・FAX：（082）878-7725

E-mail：shodo.box@yasuda-u.ac.jp

※午前、午後のみの参加および当日参加も歓迎致します。お気軽にお越しください。

実演の様子

本講座は、教育ネットワーク中国のwebサイトにあります「大学からのお知らせ」により緊急時のお知らせ（災害時の開講有無等）を確認することができます。

<http://www.enica.jp/>

当日は7号館3階展示室
および1号館渡り廊下において「夏の創作展」を開催しています。是非お立ち寄り下さい。

